

伊賀市議会だより

No.63
2020.11.1

楽しむ力
育んでます！



絵画造形教室の山本こずえ先生と生徒さんたち

関連記事は 16 ページ

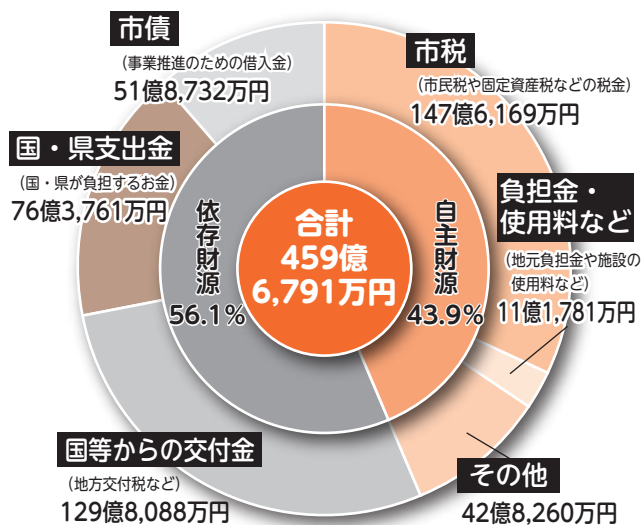
令和元年度決算

どんなことに使われたのか

一般会計歳入歳出差引残額 9億1,924万円
うち実質収支 5億8,950万円 (翌年度繰越財源 3億2,974万円)

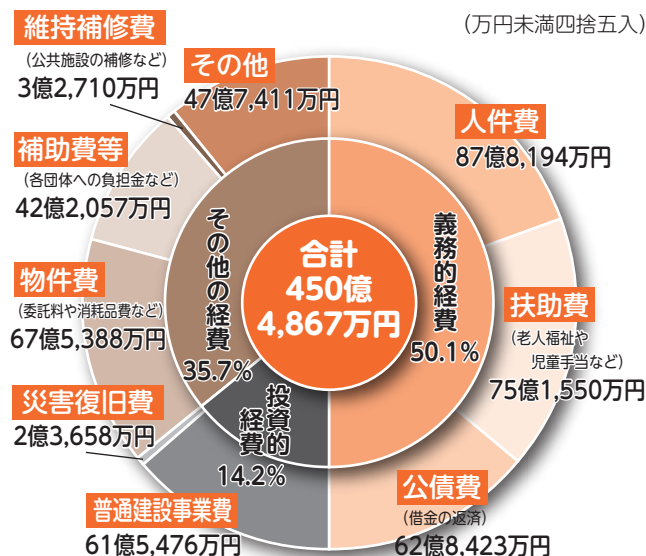
一般会計歳入決算の内訳

(万円未満四捨五入)



一般会計歳出決算の内訳

(万円未満四捨五入)



総括質疑 (委員会)

教育費

問 教育予算の割合について、近隣市過去5年間の平均を比較すると、伊賀市7.7%、名張市9.0%、津市9.8%、亀山市12.1%、甲賀市11.7%です。伊賀市が非常に低いです、どのようにお考えですか。

答 学校統廃合が行われていた時期は、教育費の中に学校の土地取得や建設費も含まれていますので、伊賀市の7.7%が「質」を示しているかということは、精査する必要があります。

問 本年2月に「議会タウンミーティング」を開催し、保護者の方に参加いただき、意見を伺いました。その中で、学校への保護者負担が非常に大きいとの指摘がありました。今回、教育費で不用額が2億1,300万円もあります。監査委員が指摘しているとおり、もっと学校に必要な部分があるのに、なぜ使用しないのですか。

答 不用額については、教育委員会に限らず、どの部署においても生じる工事や物品購入時の入札の(※)請負差額です。これらは、すべて議会の議決を経ていますので、余ったから別の事業に充てられるものではないと考えており、流用はできません。基本的には、必要なものは新たに予算要求していただきます。

病院事業会計

問 市民病院を黒字化することに重きを置かれていますが、果たしてそのことが病院の本来の目的なのですか。

答 黒字が最優先とは考えていません。質の高い医療の提供が一番の目的です。

問 病院の待合室がいつも混んでいます。薬のみ、もしくは月に一度の診察だけなら、元は開業医などからの紹介ですから、開業医などで受診すべきではないですか。今後の病院のあり方を見直すべきではないですか。

答 本年10月に国の施策に基づく(※)選定療養費の徴収が始まりますので、機能分担がさらに進み、待合室の混雑は一定改善されるのではないかと考えています。開業医ではできない検査、手術、入院などの高度医療機能を果たすためにも、中長期的展望のもとに医師・看護師の確保や高額な医療機器の導入が不可欠ですので、安定した病院経営が必要と考えています。

※請負差額：予定していた価格（設計価格）と落札価格の差額

※選定療養費：国の省令の改正により、紹介状なしで受診等した場合、保険適用の診療費とは別に国が定める料金を患者が負担する費用

一般会計 450億4,867万円の成果を審査・認定

無駄な事業や問題点がなかったか。来年度予算編成に生かせるよう新たな方法により審査し、本会議で賛成多数により認定しました。(決算審査の詳細は4ページ参照)

基金(預金)

(万円未満四捨五入)

●一般会計	残高	146億2,532万円
●特別会計	残高	9億8,860万円
●財産区	残高	3億5,177万円
〈合計〉	残高	159億6,569万円
	(対前年度比)	-9億4,611万円)

市債(借金)

(万円未満四捨五入)

●一般会計	残高	547億5,016万円
●特別会計	残高	1,413万円
●企業会計	残高	290億3,130万円
〈合計〉	残高	837億9,559万円
	(対前年度比)	-17億3,039万円)

令和元年度決算のあらまし(万円未満は四捨五入)

◆一般会計

歳入	459億6,791万円 (対前年度比 24億4,390万減) 主な要因 市債の減	歳出	450億4,867万円 (対前年度比 17億7,599万減) 主な要因 普通建設事業費の減
----	--	----	---

◆特別会計

	国民健康保険事業	住宅新築資金等貸付	駐車場事業
歳入	94億5,023万円	1,283万円	4,535万円
歳出	95億5,068万円	7,255万円	4,525万円

	介護保険事業	後期高齢者医療	サービスエリア
歳入	109億1,665万円	12億1,294万円	1,005万円
歳出	104億 403万円	11億9,820万円	955万円

	財産区(2会計)
歳入	4,928万円
歳出	4,514万円

◆公営企業会計

		病院事業	水道事業	下水道事業
収益的支出	事業収益	46億2,609万円	34億7,891万円	27億 72万円
	事業費用	42億9,820万円	30億9,952万円	23億2,925万円
資本的収支	資本的収入	5億4,218万円	5億4,845万円	12億1,828万円
	資本的支出	6億1,836万円	19億2,895万円	17億6,160万円

監査委員の意見要旨

おおむね適正な執行状況であると認められる

国民健康保険事業特別会計中の直営診療施設勘定診療所費及び住宅新築資金等貸付特別会計は、本年度も赤字決算となったが、一般会計をはじめその他の特別会計はいずれも黒字決算であり、地方公共団体財政健全化法に基づく財政健全化判断比率においても、国の定める基準を十分クリアしており、堅実な財政運営に努めていると認められる。

歳入について、債権管理条例に基づく債権回収の取組みの結果、市税等の未済率が低下傾向にあり、一定の成果につながっている。債権管理課が今年度末に廃止が予定されており、今後の債権管理をどのようにするか方向性を定めて組織改善に取り組んでいただきたい。

歳出については、施設の維持管理業務委託の契約は、安易に設置業者等と随意契約することなく、業務仕様書を作成のうえ他業者の見積書と比較し入札による契約を検討するよう望む。

(監査委員 鈴木陽介・西口和成)

審議した議案と各議員の賛否(決算)

○印は賛成、×印は反対。近森議員は議長のため採決に入っていません。

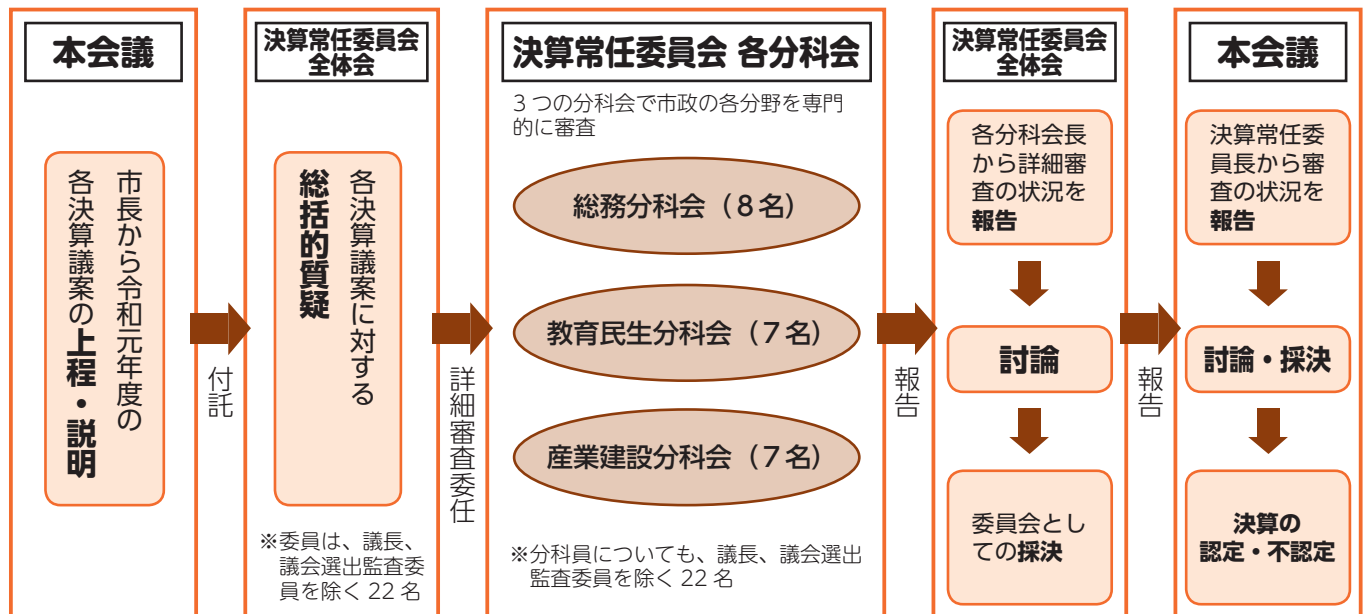
件名	賛・反対	議決結果	川上	北森	信田	西口	福村	宮崎	桃井	山下	市川	赤堀	嶋岡	田中	福田	森川	生中	上田	近森	中谷	百上	北出	空森	岩田	安本	中岡
			善幸	徹	利樹	和成	教親	栄樹	弘子	典子	岳人	久実	壮吉	寛	香織	徹	正嗣	宗久	正利	一彦	真奈	忠良	栄幸	佐俊	栄子	久徳
令和元年度伊賀市一般会計歳入歳出決算の認定	20:3	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○
令和元年度伊賀市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	22:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○
令和元年度伊賀市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	22:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○
令和元年度伊賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	22:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○
令和元年度伊賀市病院事業会計決算の認定	22:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度伊賀市水道事業会計決算の認定	22:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○

全員賛成で認定した議案

市長提出議案	- 令和元年度伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定 - 令和元年度伊賀市サービスエリア特別会計歳入歳出決算の認定 - 令和元年度伊賀市大山田財産区特別会計歳入歳出決算の認定	- 令和元年度伊賀市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定 - 令和元年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計歳入歳出決算の認定 - 令和元年度伊賀市下水道事業会計決算の認定
--------	---	---

決算審査の方法が変わりました！

今定例会から、より充実した審査が行えるよう、決算常任委員会に3つの分科会を設け審査を行いました。



質 疑 (分科会)

● 総務分科会

住民自治協議会推進経費

問 「キラッと輝け！地域応援補助金」について、執行額が予算の半分であるが、見解は。

答 初めての事業で PR が足りませんでした。今後、各住民自治協議会へのヒアリング等を通じて活用を促していきます。

斎苑管理運営経費

問 伊賀市斎苑施設全体の大規模改修検討の進捗状況は。

答 今後の予定は、2021 年度に基本設計を行い、2022 年度に実施設計、2023 ～ 2024 年度にかけて建設工事、2025 年度に火葬棟の供用を開始したいと考えています。それまでは、現在の斎苑を維持管理しながら、早急に現在地で新しい斎苑の建設に向けて取り組んでいきます。

● 教育民生分科会

母子保健事業

問 母子保健事業について、家庭への支援のための専門職の配置や体制充実の対応は。

答 主に利用者支援事業で、昨年度より母子保健コーディネーターとして保健師 2 名を専属で配置し、妊娠期より切れ目のない支援に取り組んでいます。

国民健康保険事業

問 保険給付費の支出について、前年度と比較した結果は。また、医療費の適正化に向けた取り組みは。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により受診回数が減ったことから、前年度と比較して約 2 億 5 千万円減少しています。また、特定検診受診率をはじめ健康指導率は県内で低く、今後力を入れていきます。

● 産業建設分科会

雇用、勤労者対策事業

問 UJI ターンを含む合同就職セミナーの新型コロナウイルス感染症による影響と今年度の取り組み状況は。

答 3 月に予定していたセミナーが中止となったため、市内事業者の PR が不足しています。今年度はこれまでと同じようなセミナーの開催が困難であるため、ウェブセミナーを 10 月に開催する予定です。

下水道事業

問 市街地の下水道整備の進捗状況は。

答 令和元年度に住民説明会を行い 8 割を超える住民から反対がありました。今後は方針転換し、合併浄化槽の導入をメインに水洗化率の向上を図る検討をしていきます。

ハイトピア伊賀公共公益施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

全員賛成で
可決

伊賀市上野東町に設置している「伊賀市多文化共生センター」をハイトピア伊賀4階に移転します

施行日：改正条例公布の日から起算して6カ月を超えない範囲内で規則で定める日から施行（令和3年2月予定）



伊賀市多文化共生センター
Iga-shi Tabunka Kyousei Centro
Iga-shi Tabunka Kyousei Center
伊賀市多文化共生中心
いがし たぶんか きょうせい せんたー



伊賀市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

全員賛成で
可決

消防吏員及び上野総合市民病院職員が新型コロナウイルス感染症患者等に対応した場合、特殊勤務手当を支給します



質疑（委員会）

問 市民病院において、特殊勤務手当の支給対象となるのはどのような職員か。

答 特殊勤務手当の支給対象者は、「新型コロナウイルス感染症患者」及び「疑いのある者」に診療や看護を行った職員です。感染の疑いがある者とは、PCR検査受診が必要かどうかで判断します。

討論（委員会）

賛成

新型コロナウイルス対策として特殊勤務手当を支給することは評価するが、手当を支給するだけではなく、メンタルの面でも、職員の不安を取り除くような対応を要望する。

伊賀市病児・病後児保育室設置及び管理に関する条例の廃止

全員賛成で
可決

市内に民設民営の病児・病後児保育室が開設されるため、現在、伊賀市立上野総合市民病院にある病児・病後児保育室（くまさんルーム）を閉鎖します

質疑（委員会）

問 運営は民間に任せるということだが、市として、今後どのように関わっていくのか。

答 事業実施主体は市であり、運営補助をしていきます。

問 開設はいつからか。また、現在くまさんルームを利用されている方への周知は。

答 開設は令和2年12月1日からの予定です。周知は、市民病院や医療法人にチラシを配布し、また、市のホームページなどにより行っていきます。



大山田農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

全員賛成で

可決

大山田農村環境改善センターのテニスコートの用途を廃止します



大山田農村環境改善センターテニスコート 周辺配置図

質疑(委員会)

問 テニスコート廃止後、多機能型障がい者福祉施設を設置予定とのことであるが、その概要とスケジュールは。

答 生活介護や短期入所など市内で不足している機能を充実させるために、社会福祉法人が施設を設置します。国や県の補助金交付決定(令和3年7月ごろ)後に着工し、令和4年4月に事業開始となる予定です。

消防ポンプ自動車の買入れ

全員賛成で

可決

伊賀消防署南分署に配備の消防ポンプ自動車の老朽化にともない、新たに車両を購入します

質疑(委員会)

問 廃車となる消防ポンプ自動車は下取りされるのか。

答 29万7千円で売却する予定です。

問 同型の消防ポンプ自動車の配備状況は。

答 1署7分署に配備されており、今後も計画的に更新していきます。



▲新たに購入する同型の車両

伊賀市議会解散に関する決議

同時選挙 実施ならず!

規定の賛成数に満たず

否決

議員の発議により、令和2年11月8日執行予定の伊賀市長選挙と令和3年3月28日執行予定の伊賀市議会議員選挙を同日に実施するため、議会を解散しようとする議案が提出されました

討論(本会議)

賛成

- 選挙は解散後40日以内に行うこととされており、同時選挙とするにはこのタイミングしかない。同時選挙は、これまで議論されており、今回の議案提出は、会派代表者会議等を通じて事前に周知している。われわれ議員は身を切る覚悟をもって同時選挙を行い、選挙経費の削減を図るべきである。

反対

- 告示までの準備期間が短く、現職にとっては有利で、新人の立候補予定者にとっては大変不利である。今回のことは一部の人のみで物事が進められており、合意形成のプロセスが省略されている。
- 突然の解散では、公平に立候補する機会が奪われる。他に無駄遣いがないかをチェックすることが先決である。

※この議案は「地方公共団体の議会の解散に関する特例法」の規定による特別多数議決(議員の3/4以上が出席し、4/5以上の賛成【24人中20人以上の賛成】)が必要であり、採決の結果、賛成13、反対11(議長を含む)で否決となりました。

【補正予算の主なもの】

- 青山複合施設整備事業
青山複合施設整備工事費など 187,424 千円
- 伊賀南部環境衛生組合負担金
伊賀南部クリーンセンターの火災による施設復旧工事に要する負担金 89,385 千円
- 旧上野市庁舎利活用事業
利活用最適手法検討業務委託料 5,210 千円

補正予算に対する討論（本会議）

- 反対**
- ・大切な生活に関わるものもたくさん計上されているが、旧上野市庁舎利活用の予算については、何度も何度も利活用の提案をしているが、もっと「こんな利活用をする」というクリエイティブな提案があってしかるべきであり、認めるわけにはいかない。市民に評価され、議会で認められるべき予算案として再提出されることを望む。
 - ・青山複合施設整備事業は、将来支所を廃止し、比叡、神戸、きじが台、青山地域を担当エリアとする南部地域振興センターになることを前提にしている。これらの地域全てに、施設に入る機能や建設場所の協議、説明がなされていないのではないか。また、ハザードマップによる浸水想定区域内であることを認識しての計画であり、防災の拠点となるべき施設であることや、住民の避難場所確保の観点から、建設場所の見直しが必要である。

疑義あり！



議員発議により **旧上野市庁舎利活用事業予算を修正削除** する議案提出される

賛成多数で

可決

【修正削除の内容】

- 旧上野市庁舎利活用事業予算の**削除** 5,210 千円
- 債務負担行為補正予算の**削除**（旧上野市庁舎利活用最適手法検討業務委託経費） 12,170 千円

修正削除案に対する討論（本会議）

- 賛成**
- ・旧庁舎跡地が疲弊していると言われる状況は、市庁舎の移転によって予想できたことであり、何とかしてほしいという市民の思いは、多額の税金を投入し保存をしてほしいという意味ではない。また、1か月後に市長選を控えているにも関わらず、何故この議会での上程かと疑念を持たざるを得ず、選挙結果によっては全く無駄な支出になることも予想されるものである。
 - ・交流型の図書館を核にすることは賛成であるが、過去の図書館協議会の議論においては、図書館の肝は「司書」であり、その人材育成が指定管理者制度になれば出来ないため直営が必要だと結論付けられている。しかし、委員会質疑において、今から直営が指定管理かを考えるというような答弁であったことに対して大変失望した。市として、しっかりとしたビジョンと計画をもって進めていくことが必要であるが、そのことが欠けていると言わざるを得ない。
- 反対**
- ・文化的価値が認められている旧上野市庁舎を利活用することにより、域内の経済の循環や市民サービスの水準向上が図られ、エリアの価値が向上していくと考えており、その手法として市と民間がパートナーシップを結んで事業を展開していくことが最適である。このため、スピード感を持って進めていこうとする市の考えも理解でき、本予算の修正削除によってブレーキをかけることがあってはいけいない。

請願

全員賛成で

採択

- 【件名】
- 義務教育費国庫負担制度の充実を求めること
 - 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めること
 - 子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めること
 - 防災対策の充実を求めること

請願者 伊賀市PTA連合会 会長 西岡 浩司 ほか2名
紹介議員 中岡 久徳、宮崎 栄樹、上田 宗久

■提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣
内閣府特命担当大臣防災担当（防災対策の充実を求めることに関してのみ）



審議した議案等と各議員の賛否

○印は賛成、×印は反対。近森議員は議長のため採決に入っていません（発議第8号を除く）。

件 名		賛成・反対	議決結果	川上善幸	北森徹	信田利樹	西口和成	福岡教親	宮崎栄樹	桃井弘子	山下典子	市川岳人	赤堀久美	嶋岡壯吉	田中 覚	福田香織	森川 徹	生中正嗣	上田宗久	近森正利	中谷一彦	百上真奈	北出忠良	空森栄幸	岩田佐俊	安本美栄子	中岡久徳	
市長提出議案	令和２年度伊賀市一般会計補正予算（第５号） （発議第５号で修正削除された部分を除く）	22：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○
議員提出議案	令和２年度伊賀市一般会計補正予算（第５号）に対する修正【発議第５号】	13：10	可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	—	×	○	×	×	○	×	×	
	伊賀市議会解散に関する決議【発議第８号】 （４／５以上の賛成を必要とする特別多数議決）	13：11	否決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	
全員賛成（同意、採択を含む）で可決した議案																												
請願	●義務教育費国庫負担制度の充実を求めること ●子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めること													●教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めること ●防災対策の充実を求めること														
市長提出議案	●令和２年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号） ●伊賀市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 ●ハイトピア伊賀公共公益施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 ●大山田農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例の一部改正 ●伊賀市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 ●伊賀市病児・病後児保育室設置及び管理に関する条例の廃止 ●辺地に係る総合整備計画の変更 ●ＧＩＧＡスクール構想対応学習用端末（小学校）の買入れ ●人権擁護委員候補者の推薦（森下政實氏、米田美紀子氏、福本康代氏、小川敏正氏）													●令和２年度伊賀市病院事業会計補正予算（第１号） ●税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部改正 ●伊賀市手数料条例の一部改正 ●伊賀市障がい者グループホーム設置及び管理に関する条例の一部改正 ●伊賀市学校設置条例の一部改正 ●和解すること ●消防ポンプ自動車の買入れ ●ＧＩＧＡスクール構想対応学習用端末（中学校等）の買入れ														
	●防災・減災、国土強靱化対策の継続及び拡充を求める意見書の提出 ●義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書の提出 ●子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援にかかわる制度の拡充を求める意見書の提出													●新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出 ●教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出 ●防災対策の充実を求める意見書の提出														

【緊急提言】「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応」を市長に提言（9月3日）

台風等による出水期を控える中、避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について、総務常任委員会で所管事務調査（避難所の拡充、物資の備蓄、避難所運営マニュアル作成・訓練）を行いました。調査の内容を9月1日に議長に提出し、議長から市長に対し、速やかな対策を講じられるよう要請しました。



▲総務常任委員長から議長に提出

1. 非常時においても執行部組織内における縦の指示命令及び横の連携が迅速かつ十分に機能するよう総合危機管理課の役割や所掌事項を明確化するとともに、必要な組織機構の見直し、対策本部のあり方の検討を行うこと。
2. 避難所（施設）ごとに建物レイアウトが異なることから、実際の避難所ごとに従事する職員の意見を取り入れ、避難者の動線確保や受入準備ができるようにすること。
3. 非常時における市民の安心・安全のための備蓄物資の確保や市民に対する事前啓発が重要であることから、これらの予算の確保を行うべく、市全体の事業の優先順位を精査したうえで、予算編成を行うこと。
4. 上記1～3の検討等を行うにあたっては、伊賀市災害アドバイザーや有識者などの意見を十分に聴き取り、参考とすること。



▲議長から市長に提出

一般質問

市政を問う

9月定例会の一般質問は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月8日～9日の2日間で行われ、17人の議員が市の諸問題について質問しました。
その主なものを掲載しています。【QRコードで録画映像をご覧くださいいただけます。】

上田 宗久 議員

質問項目

●市長選挙前に問う



問 地区市民センターの自治センター化の進捗状況は

地区市民センターの指定管理者制度については2022年4月からのスタートを目標とされています。取り組み状況についてお尋ねします。

答 約半数の自治協議会から前向きな回答を得ています

これまでから地区市民センターの管理手法については、自治協議会の皆さんがより活発な活動ができ、効果的に管理運営ができる指定管理者制度の導入に向けた取り組みを行ってきたところです。今年6月に、地区市民センターの管理手法について、自

治協議会の皆さん方にアンケート調査を実施しました。約半数から「内容や条件次第では指定管理による管理を行っていききたい」との回答を得ています。

問 自治協議会との話し合いはいつから進めますか

答 年内から開始します

年内に情報共有や受委託条件検討のための懇談会を始められるよう取り組みます。

QRコード▶



嶋岡 壮吉 議員

質問項目

●空き家対策



問 空き家の売買の問題点は

答 中古不動産の評価方法が問題となっています

中古住宅の取引市場の評価は、建物評価を適切に反映した取引はほとんどなく、原価法を中心に行われています。税法上の耐用年数（木造は22年）などを考慮し、住宅の状態にかかわらず、一律に築後20～26年程度で市場価格がゼロとなる取扱いが一般的であり、リフォームを行っても価格に反映されないケースが多いからです。

問 問題のある空き家の家主への指導は

雑草が生い茂り、小動物等が出入りし、

環境上の問題が生じている空き家の家主への指導はしていますか。

答 行政指導等を行っています

空家法が制定された平成28年から、行政指導を行っています。これまでの指導件数は540件以上にのぼります。空家法に掲げているとおり、空き家の適正管理は所有者の責任というところを明確にしながら、義務を果たしてもらえよう適正に指導しています。

QRコード▶



中谷 一彦 議員

質問項目

●土地の有効活用



問 上野南部丘陵地整備の進捗状況は

この5年間の停滞について、市長のお考えは。また土地の所有者は変わったのですか。

答 「大きな動きがあった」と言わせてください

開発エリア内の大規模地権者と協議を行い、市が推進している工業団地の誘致に関して賛同を得ており、引き続き事業化に向けて進めていきます。民間と民間の事業であり、マッチングがメインの取り組みをしていきます。土地所有者の変更についての答弁は控えさせていただきます。

問 旧上野商業高等学校跡地工事の遅延理由は

プロポーザル案では平成31年7月頃着工し、翌年2月完成、4月開始でした。また、貸付料年間936万円の発生が令和2年10月となった理由も教えてください。

答 設計の見直しのためです

事業者が地質地盤調査を行うなど工事着手に向けて準備をしていましたが、東京五輪関連工事もあり工事原材料等の価格高騰により、資金計画や建築物の設計見直しが生じたことが主な原因です。

QRコード▶



一般質問

宮崎 栄樹 議員

質問項目

- コロナの先の「新しい時代」に向けて



問 「公民連携」の推進を

市の職員には「社会を変える力」があります。この力を発揮していくための手段として、公民連携（官民共創ともいう）を提案します。公民連携により市役所の資源（人員、予算、地域課題を解決するノウハウ）不足を解決し、住民サービスを向上させることができます。推進には、受付窓口の設置が必要ですが、いかがですか。

答 体制づくりを進めていきます

問 「デジタル変革」の推進を

デジタル変革では、役所の業務効率や住民サービスを大きく向上させることができます。AIや（※）RPAを用いて業務を

効率化することにより、職員が市民のみなさんに向き合う時間をつくることができます。また、各種申請をLINEで行うなど、市民の利便性向上も可能です。推進には、CDO（最高デジタル責任者）を置くなどし、全庁的に推進していく必要がありますが、いかがですか。

答 全庁的に推進していきます

※ RPA (Robotic Process Automation) : オフィスでの定型業務を自動化する技術のこと

QRコード▶



百上 真奈 議員

質問項目

- 新型コロナウイルス感染拡大への対策



問 PCR 検査センターの設置を

医師が咳、発熱等の症状でコロナ感染が疑われる患者に、PCR 検査が必要と判断すれば確実に検査が受けられるようにしてください。

答 協議しています

県内に 8 月末現在 9 か所でしたが伊賀市にはありません。市民の安心のためにも関係機関と協議をしています。

問 介護報酬引き上げ特例による利用者の負担軽減を

介護事業所の減収補填としてデイサービスやショートステイ利用者に同意を得ることを前提に、2 段階高い介護報酬が算定で

きます。しかし利用者の負担が増えるため各事業所での対応が異なり、不公平を生んでいます。引き上げを算定しない事業者に上乗せ額を市が負担して、介護事業所を支援してください。

答 利用者に特例措置の説明をして理解を得ます

感染防止対策の徹底を図るためには特例措置が必要であり、利用者の方々に十分な説明を行うことが大切であると考えます。

QRコード▶



北出 忠良 議員

質問項目

- 農業・林業の振興



問 コロナ禍の農業に

コロナ禍における影響と対応する施策及び再生産可能な稲作を維持するにはどうすればよいと考えるのかお尋ねします。

答 農業者に応える施策を

全般的な影響は、消費の変化で食材の消費が増え、嗜好的な消費が大きく減少しています。伊賀市においても同様です。市単独の支援では、「伊賀牛販売価格低下対策事業費補助金」と「農産物販売価格低下対策事業費補助金」を 6 月に創設しました。本年 9 月には第一弾の「伊賀牛販売価格低下対策事業費補助金」の申請を取りまとめ、支援する予定です。また、稲作については

安全性を特化し、ブランド強化を図ることが重要と考えます。農作業の効率化や農地を集約し、集落営農組織が人工知能など省力化を図る機械器具やマンパワーを共有していかなければならないと考えます。関係機関との連携を強化して、稲作農家の育成を図っていききたいと考えています。

QRコード▶



一般質問

岩田 佐俊 議員



質問項目

● 2025 年問題の対応

問 2025年問題に対応できますか

団塊世代が高齢者となるこの年で、上野総合市民病院では、医療器材や医師・看護師は他の病院と比較して充実していますか。

答 同規模病院に劣っていません

医療機材は、各診療科の医師や各部門からの要望を集約し、購入委員会で検討して計画的に購入しており、今後もさらに充実させます。人材に関しては、今後、医師・看護師に加えリハビリに重要な役割を果たす理学療法士、作業療法士、言語聴覚士も必要に応じて増やします。

問 現在の介護施設の現状は

また、高齢者への生活支援体制についての対応はどのようにされていますか。

答 介護保険分野の各事業所で人材が不足しています

各事業所でヘルパーや各部署の担当の人材不足があります。今後もいろいろな手段を使って人材確保に努めます。また、高齢者の生活支援として、生活支援課の専門の相談員や社協の皆さんが生活全般の相談を受けています。

QRコード▶



山下 典子 議員



質問項目

● 教育行政

問 学校の特別教室にエアコンの設置を

学校の適切な環境整備は重要です。普通教室のエアコン設置率はほぼ 100 %ですが、音楽室や理科室等の特別教室のエアコンの設置状況と今後の設置予定を教えてください。

答 特別教室への設置に取り組んでいます

特別教室のエアコンの設置は現在約 70 %です。今後は、設置率の低い学校や音楽室のように音が出るため遮断が必要な教室を優先する等、状況を勘案してエアコンの設置に取り組みます。

問 学校に自動翻訳機の設置を

子どもたちの学習や保護者との意思疎通に役立てるため、日本語指導が必要な児童・生徒の多い学校に設置する考えは。

答 来年度タブレット型通訳・翻訳機の導入を検討しています

今年度、三者間電話通訳サービスを導入しました。来年度はさらに通訳者の姿を見ながら会話ができるタブレット型通訳・翻訳機を導入し、スムーズにコミュニケーションが取れるように考えています。

QRコード▶



福村 教親 議員



質問項目

● 消費生活アドバイザー資格者の活用

問 消費生活アドバイザーの活用は

2020 年 4 月の民法改正により、18 歳が成人となります。そのため、18 歳より携帯電話・クレジットカード・各種ローン等の契約ができるようになります。

若年層の消費者被害を防ぐためにも、中学生から授業の一環としての教育が必要ではないですか。

答 大変大事なことで受け止めています

市では消費生活トラブルにあわないために、広報やホームページ、ケーブルテレビ等で啓発を行うとともに、各地域の組回覧で啓発チラシを配布するなど、随時情報発信を行っています。

また、すべての中学校において、公民、家庭科、総合的な学習時間等で、成人年齢の引き下げによって何がかわるのかも含めて、消費者教育を進めていきます。

なお、今後、消費生活アドバイザーの活用も各学校に呼び掛けて行きたいと思います。

QRコード▶



一般質問

市川 岳人 議員

質問項目

- 住民サービスが低下しませんか



問 住民サービスが低下しませんか

公共交通（地域バス交通の便数削減や路線統廃合）、消防署再編、公民館・図書館分館の見直し、支所の統廃合、防災行政無線の廃止について案が示されてきましたが、今の市長方針では、市民生活や住民サービスが低下しませんか。サービスから取り残される方をどのようにケアしていきますか。

答 効率化で市民サービスを向上し全市民をケアします

市町村合併は、行政の効率化、財政の健全化、真に必要な施策に重点を置いていくことが目的でした。合併から16年たち、

旧町村の区切りをいつまでも続けることはあり得ず、現実に即した切り分けとメリハリをつけた税の投入が必要です。

（支所の統廃合については）思い付きではなく、（窓口の利用）状況、将来動向を調査の上、再編案をまとめており、今後は（※）「DX」を進め効率化し市民サービスの向上につなげます。

※DX：Digital Transformation 情報通信技術が生活をより良くすること

QRコード▶



信田 利樹 議員

質問項目

- 観光とまちづくり



問 ふれあいプラザの計画は

少しでも早期に進めなければと思います。が現状や計画・予定を教えてください。

答 立地に向け検討中です

現状の建物を改修して4階すべてを活用する方向での引き合いが数件あり、引き続き立地に向けて協議していきます。

問 新天地商店街を官民協働で

公共交通機関等の玄関口として官民協働で観光や賑わいの拠点として整備できませんか。

答 民間の建物なので

新天地商店街は法人や自治会の所有物件

なので、民間の方から改修計画等の相談をしていただければ国や県の補助金等を活用し事業化できればと考えています。

問 「日本一のトイレ」何が日本一ですか

『さまざま広場に日本一のトイレが完成しました』という市長のコメントが新聞等に掲載されましたが、何が日本一なのですか。

答 デザイン性と機能です

他の都市では見られない様なデザイン性と機能が日本一です。皆さんに来ていただけるインスタ映えるようなものです。

QRコード▶



桃井 弘子 議員

質問項目

- コロナ禍における修学旅行の対応



問 市内小中学校の修学旅行はどのようになっていますか

答 コロナ禍でも感染防止対策をしながら、実施したいと考えています

現時点では、小学校は1泊2日で三重県内、中学校は1泊2日で三重県内または近隣の感染リスクの低いところを行き先としています。

問 修学旅行の同意書やキャンセル料の説明が学校によって異なっているのはなぜですか

伊賀市共通の修学旅行欠席の同意書を作成し、教育長・学校長名で保護者に出すべ

きでは。また、キャンセル料に対しての考え方は。

答 教育委員会として、できるだけキャンセル料が発生しないような決定を各学校にお願いしています

しかし、新型コロナウイルス感染拡大により、修学旅行が急遽実施できない場合などは保護者の負担にならないようにしたいと考えています。同意書につきましては、文部科学省の例文に従い、学校長名で出されています。

QRコード▶



一般質問

北森 徹 議員

質問項目

- コロナ禍における伊賀市のスマートシティの考え方



問 デジタル化の目的は

伊賀市での ICT 化の浸透や取り組みが、どのように市民の生活や満足度が向上するのか、スマートシティ化に向けたビジョンはありますか。

答 住民サービスの向上です

現状では、スマートシティ構想はありませんが、コロナウイルス感染拡大により、持続可能な社会を考えさせる大きな機会となっており、デジタル技術が感染防止に重要な役割を果たすと示されています。

本市でも、この事をチャンスとし、デジタル技術の活用を積極的に進めていく必要があります。(仮称)伊賀市総合計画第3

次基本計画策定方針においても示しているとおり、誰一人取り残さないということを理念とした SDGs (持続可能な開発目標) や Society5.0 (AI、ロボット、ビッグデータ等の革新技術) の考えを、各分野の政策に取り入れていき、住民サービスの向上を目的としたデジタル変革に早急に取り組んでいきます。

QRコード▶



生中 正嗣 議員

質問項目

- 市政に対する自己評価



問 2期8年の市政に対する自己評価は

「勇気と覚悟」「無駄のない財政運営」によって進められた施策の評価は。

答 市政の再生、進展に取り組みました

「今のままではあかんやろ」を掛け声に、合併に伴う有利な財源の縮小、少子高齢化や人口減少による市税の減収など財政状況厳しい中、必要な大型事業を実施しつつ、財政の健全化を進めました。点数をつければ85点です。

問 市民に誇れる施策・事業はありますか

市長は事あるごとに「市民目線、市民感覚、市民総意、市民合意」とよく言われるが、市長しか成し得なかった市民に誇れる施策・事業は。

答 財政の健全化に取り組みました

1,120億円あった借金を2期8年で220億円減らし、財政健全化を示す(※)「実質公債比率」を就任時の13.9%から11.4%に、そして次世代への負担を示す(※)「将来負担比率」についても114%から77.2%まで改善することが出来ました。

※実質公債比率：自治体の収入に対する負債返済の割合

※将来負担比率：借入金等の負債の大きさを市の財政規模に対する割合で表したもの

QRコード▶



川上 善幸 議員

質問項目

- 地域で活動する文化サークル等への支援



問 文化サークルにはどのような支援がありますか

補助金を含めた支援の内容を教えてください。

答 三種類の支援があります

負担金補助及び交付金として補助をしていますが、他に会場使用料や舞台設営等の経費についても市が負担をし、また、公民館の使用料減免など財政的な支援を行っています。

問 文化サークルの予算の増額を

「建物から人へ」人づくりが文化づくり、まちづくりと考えています。人への支援に

力を入れていただきたい。現在の文化サークルの全体予算は、市主体の事業と比較するとあまりにも少ないので増やせませんか。

答 市として一定の基準を設けて、全体で公平な支援をします

財政的な支援については、受益者負担をしていただきながら、市として一定の基準を設けるなど市全体で公平な支援を行います。また、今後もサークル団体の活動ができるよう助言や支援を行っていきます。

QRコード▶



一般質問

田中 覚 議員

質問項目

●岡本市政のこの4年間で振り返って



問 この4年間、「しがらみ」のない市政でしたか

最初は「今のままではあかんやろ」、2期目は「しがらみなき市政改革、継続」でした。そこで、

- ①岡本マスク第2弾の契約は、随意契約で詳細の仕様書も存在せず、議会对応に腐心をしている議員のお身内が契約先です。
- ②新庁舎建設は、その土地所有者は市長のとても近い方です。法外な土地単価と監査請求されて、裁量の範囲や乱用は認められないとありますが、市長の裁量でした。
- ③伊賀神戸駅のバスの転回場設置は、要望者である同級生や土地所有者との仲介者

である議員との関係。

- ④旧上野庁舎の保存は、保存を主張される方は市長選挙の大きな協力者です。
- ⑤市長不信任決議、問責決議について、提出された原因は公共事業と旧上野庁舎予算の引き換えです。
- ⑥伊賀市職員労働組合の推薦は、次期選挙を控えて究極のしがらみではありませんか。

答 「しがらみ」はありません



QRコード▶

赤堀 久実 議員

質問項目

●コロナ禍における支援と対策



問 新生児に給付金支給する考えは

コロナ禍が続いており市民生活にもたらす影響が長期化になると心配されます。特に子育て世帯にとって大きな負担となります。伊賀市では、独自でプレミアム商品券や給食費無償化など、子育て世帯への支援を行っていますが、対象とならない方もおられます。国の特別定額給付金の支給基準も令和2年4月27日までに生まれた子となっており、それ以降の新生児（令和2年4月28日～令和3年3月31日生まれ）に対して、一人当たり10万円の給付を行うべきだと思いますがいかがですか。

答 前向きに検討します

コロナ第二波の中で、子どもを産み育てる環境づくりが必要であると考えています。給付金については、コロナ禍における子育て支援につながるといいますので、地方創生交付金を充当している他の事業の執行残額等を考慮しながら、適正な対応を検討していきたいと考えます。



QRコード▶

☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

ようこそ伊賀市議会へ！！

青山小学校3年生のみなさんが社会見学

9月29日に青山小学校3年生の児童63人が議場見学に来られました。

市議会では、市の将来を担う子どもたちに議会を身近に感じてもらうため、議場見学を積極的に受け入れています。小中学生の社会見学として普段なかなか見ることのできない議場を訪れてみませんか。

※なお、会期中などの事情により、見学できない日があります。



令和2年12月定例会日程（予定）

- 12/1（火） 本会議（開 会）
- 8（火） 本会議（一般質問）
- 9（水） 本会議（一般質問）
- 10（木） 本会議（一般質問）
- 11（金） 本会議（一般質問）
- 15（火） 予算・決算を除く各常任委員会
- 16（水） 予算・決算を除く各常任委員会
- 17（木） 予算常任委員会
- 24（木） 本会議（閉 会）

- ・本会議と予算常任委員会は午前10時から始まります。
- ・その他の各常任委員会は開会日に決定します。
- ・定例会の日程は、変更になる場合があります。

会議の内容を閲覧できます

市議会本会議等の会議録は伊賀市ホームページや議会図書室（冊子）でご覧いただけます。

令和2年9月定例会の会議録は12月1日以降となります。なお、会議録が出来上がるまでの間は、ホームページで音声をお聴きいただけます。

ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687 E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

ホームページ <http://www.city.iga.lg.jp>

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を貸出ししています。

希望される場合は、上記までお問い合わせください。



議会の傍聴に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場、委員会室及び全員協議会室で開催される会議の傍聴は、当面の間、自粛いただきますようご協力をお願いします。

市議会（本会議・予算常任委員会）の様子は、行政チャンネル（ケーブルテレビ）で午前10時から放送しますので、できる限りそちらでの視聴をお願いします。（再放送は午後7時から）

なお、どうしても傍聴を希望される場合は、次のことをお願いしています。

- (1) 受付での非接触型温度計による体温測定へのご協力
- (2) マスクの着用と咳エチケット、手洗い・手指消毒徹底のご協力
- (3) 傍聴席での他の傍聴者と間隔を空けての着席のご協力
- (4) 熱（37.5度以上）がある場合や、体調不良（だるい、咳が出るなど）の場合は、傍聴をお控えください。

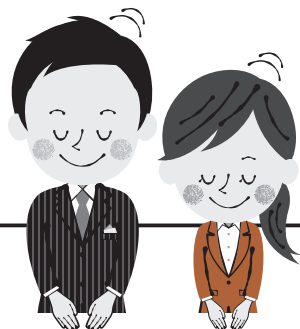
※傍聴に関する情報は、随時「伊賀市議会ホームページ」でお知らせします。

今年度のタウンミーティング開催中止のお知らせ

昨年度から実施している「議会タウンミーティング」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は中止とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況となっている中、議会内で慎重に検討を行った結果、ご参加いただく皆さまが安心して参加できる万全な環境での開催が困難なため、中止せざるを得ないとの結論に至りました。

今後も市議会では様々な機会を通して市民の皆さまからご意見をお聴きしたいと考えていますので、なにとぞご理解くださいますようお願いいたします。



編集
後記

市民のみなさんと、市民目線で市政について語り合い、さまざまな課題を共有し提案をいただく場としてきたタウンミーティングが今年度開催できていません。市民のみなさんとのコミュニケーションを困難にするポストコロナ時代の中で、広聴機能を充実させるために模索が続いています。市民と議会をつなぐ広報機能のあり方も合わせて、みなさんのご意見をお聞きしながら議論を深めてまいりたいと思います。（百上）

次号は2月1日です。

発行：伊賀市議会

編集：伊賀市議会広報広聴委員会

応援します!!

第5弾

夢追い人



今回は、伊賀市田中で絵画と工作の教室を開かれている**山本こずえ**さんと生徒さん（阿山小学校1年生から6年生）取材しました。

作ることの楽しさを知ってほしい

先生の絵との出会いはいつですか。

こずえ先生：小学4年生の時、アトリエ教室で習ったのが最初です。初めて描いた絵が思いのほか上手に描けて、自分で「天才や」と勘違いしちゃいました。でも絵との出会いはその勘違いから始まったんです（笑）

独身時代、絵の先生をされていたとのことですが、なぜもう一度子どもたちに教えようと思われたのですか。

こずえ先生：子育てを経験して、また違った視点で子どもたちに教えてみたいと考えるようになりました。私が住む丸柱地区は、焼き物の仕事をされている方が多い地域です。ここへお嫁に来て、手間と時間を惜しまず、生活に関わる様々なものを作る方たちに出会いました。畑やお家、パン窯、お祭り、器、お味噌等々。モノづくりが生活の一部になっていることや、それを楽しんでいる人が多いことに感動しました。そんな中、地域のおじさんたちに、「手作りのできる子どもを育てやなあかん」と言われ、その言葉も子どもに教えたいと思ったきっかけの一つになりました。

教室では、どんなことをされていますか。

こずえ先生：絵画や工作、縫い物などです。子どもたちの様子を見ながらお題を考えています。少ない予算でも心置きなく楽しめるように、材料は木工の作家さんから廃材をもらってきたり、卵の殻を使ったりして工夫しています。子どもたちも、この木の割れているところは口にしようとか、想像力を働かせて作品づくりをしていますね。教室を始めて1年ですが、最近やっとみんなのやる気スイッチが入ってきたような気がします。

子どもたちにはどのように育ってほしいですか。

こずえ先生：作ることの楽しさを知って、心豊かに育ってほしいです。この先、モノづくりできない人が増えてくると思うんです。手先が器用なことや、自分で考える力を持っていることは、子どもたちの強みになると思っています。

今後の夢を教えてください。

こずえ先生：発表する場があると自信に繋がりますので、子どもたちの作品の展示会をやりたいです。作品をためて、いつかできたらいいなと思っています。これが今の私たちの目標です！あと、実はまだこの教室に名前がないんです。じっくりくる名前を考えたいです。



皆から「こずえちゃん」と呼ばれています

生徒さんたちの声 何でも「ひとこと」！

りょうちゃん：絵を描くのが好き！色の使い方やグラデーションを先生に教えてもらった。私のお母さんみたいに絵が上手になりたいから、大きくなっても絵を描くことを続けたいです。

こちゃん：（※）グルーガンで積み木（廃材）をくっつけたのが面白かった。

きくちゃん：フルーツやビンの静物画を描くのが好きです。

みつきちゃん：工作や絵を描くのが好き。お友達にこの教室に誘ってもらってよかった。

ふきちゃん：絵や手芸が好きなので、やっていて楽しいです。みんなとしゃべりながらやるのも楽しいです。

わちゃん：全部楽しい！楽しい！ （※）グルーガン：特殊な樹脂を熱で溶かし、木材や布などに接着させる道具



最後にこずえ先生からも「ひとこと」いただきました

「絵を描くことや工作することだけでなく、生活の中にあるモノづくりも子どもたちに体験してほしいです。土鍋でご飯を炊いたり、靴下の穴を繕ったり、畑で野菜を育てたり。そんな色々な経験が子どもたちの生きる力になると思うのです。その中で伊賀のいいところも見つけてほしいですね」と笑顔がとても素敵なこずえ先生でした。